

第1回 地域医療貢献奨励賞 受賞者（平成19年度）

葛西 智徳	青森県三戸郡三戸町 国民健康保険三戸中央病院・副院長
<p>昭和61年、自治医科大卒。本州最北端の下北郡大間町を最初に、青森県内のへき地5か所で勤務。県下自治体間の医療連携の推進、後進医師輩出への取組等に尽力。</p>	
布施 克也	新潟県十日町市 県立松代病院・院長
<p>昭和59年、自治医科大卒。過疎・豪雪地帯である十日町市において、高齢化が進む山間地のプライマリケアを中心とする地域医療にとり組む。現任の松代病院は平成19年度の自治体立優良病院の表彰を受ける。</p>	
奥野 正孝	三重県鳥羽市 鳥羽市立神島診療所・所長
<p>昭和53年、自治医科大卒。鳥羽市の神島診療所に勤務の後、自治医科大での勤務を夹んで、再び神島診療所に赴任、現在に至る。離島という厳しい条件下、島民の医療確保、健康増進に努める。</p>	
榊原 均	島根県隠岐郡海士町 海士町国民健康保険海士診療所・所長
<p>昭和55年、獨協医科大大学院卒。医師不足の象徴的存在となっている隠岐において、島前中ノ島の海士診療所で、長期にわたって離島医療活動に取り組む。</p>	
津田 俊彦	長崎県五島市奈留町 長崎県離島医療圏組合奈留病院・院長
<p>昭和54年、自治医科大卒。五島列島の中央に位置する人口4000人弱の奈留島の地域医療を長期にわたり一手に担う。離島病院が連携して医療提供を行う長崎県離島圏組合の体制づくりにも尽力。</p>	
今隈 満	鹿児島県肝属郡南大隅町 今隈医院・院長（開業）
<p>昭和49年、鹿児島大卒。肝属郡医師会立病院に勤務の後、院長職を後進に譲り、同郡内の無医地区である大隅半島南端の佐多地区で開業、地区の診療活動と並行して医師会立病院での出張診療にも従事。</p>	